



微笑みりポート

「おひさまきらきら えがおがいっぱいのなんざんようちえん」

港区立南山幼稚園の2月

<日本文化に触れて、体験して>

1月16日、年長組が“書道教室”を体験しました。初めての体験に少し緊張気味の子供たちでしたが、毛筆に墨を含ませ、真っ白な半紙にのびのびと「金」の文字を書きました。

「幼児が漢字を書くのは難しいのでは？」と感じるかもしれませんが、“習うより慣れる”を目的に、子供たちに新鮮な感動を与えたいと思って実施しました。

「金」は昨年の世相を表す字でした。オリンピックの感動は子供の心を熱くし、金メダルへの憧れも高まりました。昨年の運動会では金メダルを胸にした子供たちの誇らしそうな笑顔が印象的でした。そのようなこともあり、子供も「金の字だ。知ってる。」「書ける!」と嬉しそうでした。

書道は美しく文字を表現する芸術であり日本の大切な文化です。古来より連綿と伝えられてきた書道。心を込めて書き、伝え、表現することの大切さを子供たちに伝えていきたいと思います。



<お正月遊びが育てるもの>

子供たちの遊びがデジタル中心となり、指先だけで遊ぶことが多くなって久しいですが、凧揚げやカルタ、けん玉、コマ回し等は、単に手先を使うだけでなく多くの感覚を総動員して遊ぶことになります。これらを使って遊ぶ機会を増やすことができるのが、日本のお正月遊びのよさです。本園でも「コマ回し」「羽根つき」「すごろく」「カルタ」などの「お正月遊びや日本の昔遊び」を楽しみました。お正月遊びで育つ力は…



- ☺指先や体全体を使う細かい操作活動を通して脳が活性化されます。
- ☺失敗を繰り返しながら成功に向かい感覚器官の調整力が育ちます。
- ☺競ったり協力したりすることを通してコミュニケーション能力が育ちます。
- ☺勝つ経験や負ける悔しさを味わうことを通して、心が育ちます。

このように多くのよさがあります。様々な国の子供たちや、様々な所で生活してきた子供たちが多い南山幼稚園ですが、日本古来の遊びを通して、できないことにチャレンジする力や友達とかかわる力、バランス感覚などを培ってほしいと思います。

★問合せ先 港区立南山幼稚園 ☎3408-4785